

6. 布の透湿性について

長崎大学芸 井上 栄

1. 人体の体熱放散中、皮膚からの水分蒸発は、重要な役割を持っている。しかしてそれは衣服を通して透過していくので、衣服地の「透湿性」が問題になる。これは繊維自身を通るものと、布の間隙を通るものとの両方の効果があられるものである。従来、透湿性の測定方法には、(1)吸収コップ法、(2)蒸発法があるようであるが、今回下記の測定方法を試み、若干の結果を得たので報告する。

2. 20×20cmの試料2枚を $37^{\circ}\text{C} \pm 0.5^{\circ}\text{C}$ に保たれた金属箱（銅製）の上に置く。濾紙（クロマト No. 50）10×10cm を、化学天秤で秤量し、次いでそれに吸水させて空気中におき、その重量の差が、2gになった時にさきの試料の間に挟む。その後5分おきに濾紙を秤量していき、はじめの重さになるまで繰返す。

3. 肌着（メリヤス）に例をとれば、テビロン、ボンネル、カシミロン等はもめんに比し透湿度が悪いが、ナイロンでは、フィラメントでは悪いに拘わらず、バルキー加工した「バンロン」はよくなっている。